

～迅速かつ効率的な損害調査の実現～

「広域災害立会管理システム」の運用開始について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）ならびにあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉恭三）は、地震・台風等の自然災害発生時の立会調査を管理する「広域災害立会管理システム」を開発し、今般、運用を開始しました。

本システムは、被災物件の所在地情報と、調査員の要員数やスケジュール、スキル等に応じて、立会物件を自動選定するほか、訪問するお客さまとのアポイントを一元管理します。これにより、首都直下地震や荒川氾濫等の大規模災害でも迅速かつ効率的な損害調査が期待できます。

MS&ADインシュアランスグループは、今後もグループ一体となってお客さまに安心と安全を提供すべく、迅速かつ適切な保険金支払いに努めていきます。

1. 「広域災害立会管理システム」の概要

(1) 運用開始時期

2018年1月

(2) システムの機能と期待される効果

①地図情報を活用した効率的な立会アポイントのサポート

複数ある被災物件の所在地を地図上に表示し、調査員が最短ルートで移動できる近接物件を選定します。その他にも、標準的な立会調査に要する時間や移動時間を設定する機能を備えており、迅速かつ効率的なお客さま対応を実現します。

②調査員のスケジュール等の管理

調査員の勤務状況やスキル等の情報を事前にシステムへ登録・管理する機能により、それらをもとに人員を適材適所に配置した立会スケジュールを組むことができます。

③各種管理機能

調査員の人数や立会アポイントの件数等、円滑な立会業務に有効となる各種管理データを日別で集計します。

2. 開発の背景

大規模な自然災害においては、多くの事故報告を受け付けるため、被災物件の効率的な調査が迅速な保険金支払いに重要となります。従来は、立会アポイントを一元管理するシステムがなかったため、発災直後に調査員の過不足が生じたり、非効率な移動が発生するなどの課題がありました。

こうした中、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保は、自然災害時の迅速かつ効率的なお客さま対応を実現すべく、本システムを開発しました。

3. 今後の展開

雪害等の自然災害が見込まれる一部拠点にて、本システムを導入した災害対応を開始します。

以上

添付別紙：「広域災害立会管理システム」の画面イメージ

「広域災害立会管理システム」の画面イメージ

目的所在地間の移動時間が表示されます。
(15分未満の場合は表示されません。)

詳細

- 受付番号: T00005
- 申込受付日: 2017/10/16
- 災害名: 平成29年 台風18号
- 申込担当SCコード
- 保険種類名
- 申込状態: 未済
- アポイント状況
- アポイント簿
- アポイント希望日
- 希望開始時間
- 契約者名: 六石 謙二
- 契約者名カナ
- 目的地所在地: 東京都渋谷区恵比寿西2-11-25
- 取扱店名
- 担当担当ロード
- 最後の活動: 2017年11月22日(リスト)